

家康公生誕の地・岡崎を巡る (美しい日本の歩きたくなるみち500選 認定)

- 【注意事項】
1. 基地(Daily YAMAZAKI)で、参加料:200円を添えてお申込みください。受付処理した後に、コース地図が貰えます。
 2. 歩行者は必ず午後5時までにゴールしてください。
 3. ゴールでは必要に応じて、バスポートにJVA印の捺印が貰えます。
 4. コース内の歩行は各人の自己責任とし、交通ルールを守ってください。歩行中の事故などに関してはコース管理者に責任のないものとします。
 5. 連絡先:岡崎市ウォーキング協会 植野 彦(0564) 48-8105



- 【見どころガイド】
- ・岡崎公園: 家康公生誕の岡崎城は1873~77年に取り壊されたが、旧岡崎藩士を中心に1880年から城を「公園」として保存する運動がおき、1880年全国でも最も早い時期に公園になった。1978年に「日本都市公園100選」と「日本の桜の名所100選」に選ばれている。【おかざきの観光ガイド 案内所:リクエストすれば無料で案内】
 - ・伊賀八幡宮: 1470年、松平4代親忠が三重県伊賀より氏神としてこの地に移し、地名も伊賀となったと伝えられる。1611年に家康が建立したと本殿、1636年三代将軍家光が幣殿、拜殿、本殿を権現造りの社殿としたもので、建造物の殆どが国指定の重要文化財である。
 - ・大樹寺: 1475年に開山した松平氏・徳川将軍家の菩提寺として知られる大寺院である。ピスタ・ライン(歴史的展望の愛称)は大樹寺の本堂、山門、総門が一直線に結ばれ、岡崎城にしながら大樹寺を参拝できるようになっている。
 - ・瀧山寺: 建造物には国指定の重要文化財が多い。鎌倉時代から続く県無形民俗文化財に「鬼祭り」で知られる寺。旧暦正月7日、暗闇の中でたいまつが乱舞する姿は壮観なもの。
 - ・瀧山・東照宮: 徳川三代将軍家光の創建で、瀧山寺本堂の一段と高い所にある。これは、日光および久能山東照宮と並ぶ日本三東照宮の一つである。
 - ・岡崎天満宮: 1690年江戸湯島天神の別当職祐信(ウツシ)と言う人が伝馬町の宿に泊まった時、霊夢で菅原道真公が「この岡崎の地に昔よりいいお社がある。そこに私を勧進しなさい。」祐信はこの地帯の通り、あの菅原公御神像を合祀し、天神様をお祭りした。その社名を総持寺から岡崎天満宮と改め、現在に至っている。

2007年10月 3版
2006年 2月 2版
2006年 1月初版 発

